

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・25日、ティモシェンコ前首相発言:「ウクライナ当局は刑事訴追及び政治的弾圧を利用してウクライナとEUとの連合協定及びFTA締結を妨害しようとしている。EU指導者には、ウクライナ当局のためというよりも、4,600万人のウクライナ人のために、連合協定の締結をお願いします。」

・27日、ミキテンコ検事は、ティモシェンコ前首相が裁判で関係者を侮辱し、裁判の進行を妨害しているとして、キエフ市ペチェルスク裁判所に対し、同人への移動制限(現状)ではなく逮捕を請求。同裁判所は、逮捕はあくまでも究極の手段であるとし、同請求を却下。ティモシェンコ前首相は携帯電話や私物を側近に委託。

・27日、ブローダン元燃料エネルギー相、ボロジン同報道官が証人として出廷。

・28日、ユーシチェンコ前大統領が証人として召喚されたが、8月15日まで米国滞在中。

#### その他の刑事訴追

・25日、ヤヌコーヴィチ大統領はヴォルハ金融サービス市場国家規制委員会委員長を解任する大統領令に署名。ヴォルハ元委員長が名誉党首を務める「左派連合」党は、解任の根拠となっているのは(「収賄疑惑」に関する)報道に過ぎず、刑が確定していない現時点での解任には法的根拠がない旨指摘。

・25日、米「Universal Trading & Investment Co., Inc」社は、ティモシェンコ前首相が代表を務めていた「ウクライナ統一エネルギー・システム」社(90年代にロシア及び中央アジアのウクライナ及び東欧向けガス販売の仲介)が利益をオフショアゾーンに不当に隠匿していたとし、1,830万ドル相当の債務返還を求めてニューヨークの裁判所に提訴。

・26日、シンフェローポリ・キエフ地区裁判所は、カザチェンコ元クリミア自治共和国議会議員(民主党党首、投資会社共同経営者)に対し、詐欺容疑(職権濫用、6,500万フリヴニャの詐欺・横領、資金洗浄容疑)で禁固8年及び資産没収の刑の実刑判決。

#### 刑事訴追に対する懸念表明

・28日、円卓会議「保護の権利:実現の諸問題」の席におけるフォール駐ウクライナ仏大使の発言:「欧州がティモシェンコ前首相に対する「ガス裁判」に政治的背景を疑っている。特に、私は同裁判が法からかけ離れ、政治に非常に近いとの印象を抱き始めている。」28日、セルゲエフウクライナ国連代表部大使は、右仏大使発言は公的になされたものでは

なく、仏大使のイメージを傷つけ職務遂行を阻害するものであるとして、これを公表したBYTを批判。

・28日、ヤツェニユーク「変化の前線」党首発言:「政治家ではなく法律の専門家として言わせてもらえば、ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追は、内政的にも外交的にも、既に破たんしている。せいぜい職務怠慢の罪を問う程度のことしか期待できない。」

#### 大統領・政府の動き

・25日、ヤヌコーヴィチ大統領は、エフトウシェンコ・ウクライナ国家プロジェクト管理局長を解任。

### 2. 経済

#### マクロ経済

・23日、EBRDはウクライナの2011年GDP成長率予測を4.5%から5%に引き上げ。また、インフレ率は7.8%を9%に修正。

・26日、国家統計局は、6月の平均給与について5月比5.2%上昇の月2,708フリヴニャと発表。キエフ市の平均給与は月4,098フリヴニャ。

・27日、国連貿易開発会議(UNCTD)の世界投資レポートは、2010年のウクライナへの海外からの直接投資額は2009年比36%増と報告。

・29日、国家統計局は、暫定的な結果としつつ、2011年4-7月期のGDP成長率は前年同期比3.8%と発表。

#### 農業

・25日、国家土地資源庁は、農地売買に関するモラトリウムが廃止後は、ウクライナは農地の30%を国有とする予定である、また、1ヘクタール当たり500から800ドルとされるウクライナの土地は、最近EUに加盟した諸国の同2,000-3,000ドル、以前からEUに加盟する諸国の同10,000ドルと比較して価値が過小評価されている旨発表。

・28日、農業政策・食料省は、2011年の穀物収穫量予測を8.5%引き上げ、5,100万トンと修正。

#### その他

・23日、閣僚会議は、ウクライナ政府とアゼルバイジャン政府の間で1月に署名されたウクライナへの液化天然ガス輸入に関する覚書を承認するとして閣僚会議令を発表。

・26日、キエフ市行政府は、暖房供給システムの改善と省エネ事業に関してUSAID及びDTEK社と協力覚書に署名。USAIDの専門家とDTEKからの資金援助により欧州レベルの暖房供給を実現する予定。

・27日、EBRDは、チェルノブイリ石棺基金と原子力安全基

金に対し7,000万ユーロの追加支援を発表。これにより、チェルノブイリ新シェルター建設のために必要とされる7億4,000万ユーロを確保。

### 3 . 外政

・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、シディキ・シンガポール特使と会談、二国間関係、特に本年3月に行われたヤヌコーヴィチ大統領のシンガポール訪問時の合意事項の実施状況につき協議。

・27日、テムチェンコ第一外務次官は、閣僚会議はアルゼンチンとの90日未満の観光査証相互廃止合意及びボスニア・ヘルツェゴビナとの60日未満の全カテゴリーの査証相互廃止合意を承認した旨発表。

・28日、メドヴェージェフ露大統領は、クチマ元大統領に対し、露祖国功労第一等勲章を授与。

### 4 . 防衛

#### 海賊対処

・25日、駐NATOドルホフ大使は、ウクライナがNATO海賊対処活動への参加を検討しておりそのための艦艇が必要となる旨発言。

#### その他

・25日、国防省は、国際軍事演習「ラピッド・トライデント2011」を2週間の予定でリヴィウにて開始、13カ国約1,400人が参加し、国際平和維持任務における活動訓練が主目的である旨発表。

(了)